

活動名称 (40字以内)	生命科学分野の研究領域の可視化ツール入門		
団体名等	大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻バイオイノベーション政策分野		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		1 人
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input checked="" type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	学部学生 ライフサイエンス系学部3,4年に限定		
活動期間	2019年11月 ~ 2019年12月	主な活動場所	白金キャンパス 医科研2号館
	2ヶ月間		
目的	生命科学の研究領域を文献・特許データを用いて俯瞰する		
具体的な内容 (800字程度)	<p>ライフサイエンス分野は、科学研究が主たるイノベーションの源泉であり、大学での研究活動成果に基づいて、医薬・診断薬などが生み出されている。その多くは基礎研究としての貢献であり「研究論文」として発表されるが、重要なブレークスルーが起きた場合には、近年では研究成果は論文と特許はほぼ同時に処理されるようになってきている。大学で出願される特許の約4割はライフサイエンス分野となっており、「ゲノム編集」、「再生医療」といった特定の研究分野で、発表された論文や出願された特許群をレビューすること、またデータベースをソースとした情報加工を行うことによって、どのような情報が抽出できるかを各種文献俯瞰ツールを用いて俯瞰し、時系列にレビューする作業を体験する。</p> <p>プログラムに参加する学生には、自ら関心のある研究分野について、データベースを用いた俯瞰作業を体験してもらう。研究内容をある程度理解できることが必須のため、生命科学系の学部(理学部、薬学部、農学部、工学部、教養学部等)に所属して生命科学分野に一定の知識があることを前提としているため、3,4年に限定する。4年や修士課程で配属を希望する研究室のテーマ周辺を俯瞰する作業は研究室選びの一助にもなるはずである。参加する学部学生には、当研究室が担当する演習科目「医療イノベーション俯瞰演習」に参加することを認め、自ら関心のある研究分野について、データベースを用いた俯瞰作業を体験し、同時に最後にレポート作成を義務付ける。</p> <p><日程> 原則 全日程参加すること ○11月6日(水) 18:45-20:30(6限) 第1回 マッピングツール入門 ○11月13日(水) 18:45-20:30(6限) 第2回 特許情報の検索と調査 ○11月20日(水) 18:45-20:30(6限) 第3回 データソース設定とMapping空間の作成 ○11月27日(水) 18:45-20:30(6限) 第4回 時系列分析と社会的課題の分析 ○12月4日(水) 18:45-20:30(6限) 第5回 結果の解釈と追加検証 ○12月11日(水) 18:45-20:30(6限) 第6回 クラスター内分析 ○12月18日(水) 18:45-20:30(6限) 第7回 発表 ※データベースを各自が検索し、データ収集・加工を行うため、学内ネットに接続可能なノートPCの持参必須。</p>		
備考	演習URL: http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/bioipcourse/learning/ensyu2.html		
参加するための費用※	内 訳(1名当たり)	その他※特記事項は以下に記載	
	交通費 実費 円 宿泊費 円 () 円 () 円 計 0 円	奨励金額	なし 円
ウェブサイト等	大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻バイオイノベーション政策分野: http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/bioipcourse/learning/index.html#taiken		